

## 平成 23 年度 第 1 回武蔵野市自転車等駐車対策協議会（議事要旨）

1. 開催日時 平成 23 年 8 月 10 日（水）午前 10 時 30 分～12 時
2. 開催場所 武蔵野市役所西棟 8 階 813 会議室
3. 出席委員 13 名 欠席委員 2 名
4. 内 容

○開会

○委嘱状公布

○市長挨拶

○委員自己紹介

○会長・副会長選出

互選により、会長・副会長が選出された。

会 長 田村委員

副会長 下田委員

○協議事項

<事務局説明>

（1）武蔵野市における放置自転車対策等の取り組みについて

（2）利用登録駐輪場制度の廃止と新しい有料駐輪場制度への移行について

<質疑応答事項>

委 員：安全利用講習会の説明があったが、特別講習の参加数と認定者数の違いについて伺いたい。

事務局：特別講習を実施した学校のうち、個人情報に関係で、生徒の氏名・住所等の情報が学校側から提供いただけなかったため、認定者に組み入れることができなかったことによる。

委 員：有料駐輪場制度へ移行するお話があったが、今年 1 月に策定した武蔵野市自転車等総合計画によると、自転車等対策事業費は過去 10 年間で 53 億円がかかっており、年間 2～3 億円が持ち出しとなっている。

昨年の秋以降、大規模な駐輪場が新設されてきているが、今後の駐輪場の経営形態や運用面の話が次に出てくるように思う。

今後の見通しや運用面について、事務局はどのようにお考えか。

事務局：既存駐輪場をより収容能力のある駐輪場にするために、2 段ラックによる台数確保が考えられるが、一方で、3 人乗り自転車や電動自転車などの自転車には使いにくい側面もある。

そんななかで、旧境南第 4 駐輪場跡地に計画している武蔵境駅南第 2 駐輪場では、従来の 2 段ラックより使いやすい垂直 2 段ラックの整備を予定している。

使い勝手の良い駐輪場設備にしていきたい。

- 委員：駅への自転車による流入台数は非常に多いと感じる。  
特に朝の時間帯の自転車利用に関する苦情は多い。  
雨天時の傘さし運転など、自転車の安全利用について考えていかないといけない。
- 委員：駐輪場整備は、防災面からも非常にありがたい。  
放置自転車によって緊急車両が進入できないこともあり、消火・救助救出活動にも支障となることもあるので、こうした取り組みを充実していただきたい。
- 委員：自転車の走行環境整備には時間がかかる。  
そんななか、道路幅員が十分になく、双方向の通行が容易でない路線では、自転車を押して歩く取り組み・ルールを、看板等を通じて啓発しているが、なかなか徹底できない部分もあり、難しい部分もある。  
市が実施している安全利用講習会での周知により、自転車の安全利用が徹底できればいいかと思う。
- 委員：駐輪場の整備はありがたい。  
購入した自転車を盗難される恐れがあることを理由に、安価な自転車を購入する方が多く、そのためにしっかりと整備しないまま利用するなど悪循環になっている。お金をかけないので自転車に愛着がわかないのでは。国が自転車の盗難に対して、厳しい罰則を設けるべきである。  
罰則が強化されれば放置自転車も減るだろうし、盗難を理由に安価な自転車を購入する人も少なくなるだろう。  
むしろ、それなりの価格の自転車を購入することによって、購入した自転車を大切に乘ってもらうことが大事ではないか。  
また、自転車通行の一方通行化に向けた動きは、自転車の安全利用につながる意義のあるものではないかと思う。これによって、自転車の利用マナーも良くなるのではないか。  
最近では、自転車の通行方法が遵守されていない傾向にあるので、路面標示も含めた取り組みが必要ではないか。
- 委員：日頃より駐輪場を使って放置しないように心掛けている。  
ただ、吉祥寺大通り北駐輪場など満車であることが多い。今後も説明していただいたことを意識して、駐輪場を利用していきたい。  
吉祥寺駅東暫定一時利用駐輪場は、知らない方もいらっしやると思う。  
意外に知られていない情報があることも、説明を聞いていて感じた。
- 委員：三鷹駅北口周辺の放置自転車はだいぶ良くなったと感じている。  
放置自転車の撤去を日曜日にも実施していることも、その効果につながったのではないか。撤去された自転車のうち、意外にも市外の方が多いことに驚いた。  
あとは、自転車利用者のモラルだと思う。自転車に車両という感覚がない。  
自転車事故によって、多額の賠償金が生じることもある旨を、もう少しアピール

してもいいのではないか。

中町第1駐輪場を、今後、どのようにするつもりなのか、気になっている。

武蔵野市全体での土地利用を考えるのか、駐輪場のみで考えるのか。

委員：自転車の安全利用から考えると、免許制度の導入は考えていくべきではないか。  
また、親子間での自転車安全への取り組みもあっていいのではないか。  
引き続きレンタサイクル事業の充実と、自転車安全への取り組みの2点を提案させていただきます。ぜひ、やっていただきたい。

委員：自転車は車道を走行することが原則だが、現状は歩道を走行することが当たり前になっている。自転車利用者のモラルは考えていかないといけない。  
そのなかで、安全利用講習会は効果のあるものだと思うので、講習会の周知をもっと進めていただきたい。

委員：来年から自転車の一方通行化への取り組みが予定されていると聞いている。  
放置禁止など分かりやすい標示などを通じて、市外の自転車利用者も含めて、その周知に努め、自転車利用の改善に取り組んでいく必要がある。  
自転車対策費はできるだけ削減していくべきだが、一方で、具体的な取り組みに向けた知恵を出していきたいと思う。

委員：自転車は、上手に使える、非常に良い交通手段である。ただ、自転車だけに過度に依存することは回避していかなければならない。  
歩ける方(自転車を利用する必要がない方)は歩くことも移動手段の1つである。  
多様な移動手段を合理的に連携させて、より良い交通体系につなげていかなければならない。

中町第1駐輪場は、今すぐ高度利用する計画にはならないと思われるので、それまでの間の利用方法として駐輪場があると思う。

より効率的な使い方について、地元も含め相談していきたいと考えている。

委員：災害時の自転車利用について、帰宅困難者に対する支援として検討する余地があるのではないかと考えている。  
公共施設や大型商業施設での駐輪場整備について、まちづくり全体で考えていかなければならないと思う。

委員：駐輪場整備・走行環境・自転車利用マナーは、これまではそれぞれの別々の感覚であったが、今日の話聞いてとてもつながりがあるように感じた。  
要望があれば、協議会をもっと開催してもいいのではないか。

委員：2時間無料制度の導入した駐輪場は、地域全体にまだまだ広がっていないものの、視覚的に分かりやすい駐輪場案内看板はとても良い取り組みと感じた。

## ○閉会